

大雨(おおあめ)や 台風(たいふう)で にげるとき 着(き)るもの と 持(も)っていくもの

そでが短(みじか)いふく
短(みじか)いズボン



そでが長(なが)いふく
長(なが)いズボン



着(き)るもの

手(て)や足(あし)をケガしないように、そでが長(なが)いふくと、長(なが)いズボンを着(き)ましょう。

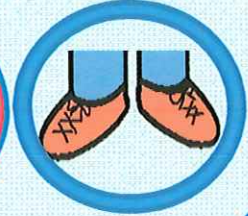
靴(くつ)

足(あし)の下(した)が厚(あつ)い靴(くつ)をはきましょう。
ひもがある靴(くつ)がいいです。
長靴(ながぐつ)は、水(みず)がたくさんある場所(ばしょ)があると、水(みず)が靴(くつ)の中(なか)にはいってきます。
あるときに、あぶないので、長靴(ながぐつ)は、やめましょう。

長靴
(ながぐつ)



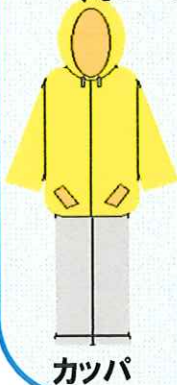
運動靴
(うんどうぐつ)



ヘルメットや、あたまをまもるもの
(ないときは ぼうし でも いいです)



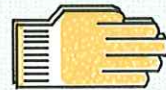
持(も)っていくもの



カッパ



手(て)に持(も)つ電気(でんき)



手袋(てぶくろ)

にげるときに 必要(ひつよう)な
ものを 入れた バッグ



水(みず)がたくさんあって、下(した)が見(み)えないとき、
水(みず)の中(なか)をしらべるのに使(つか)います



傘(かさ)

CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION

- 水(みず)がたくさんあるときは、道路(どうろ)のすぐ近(ちか)くに、川(かわ)や、穴(あな)があっても、わからなくなるので、あぶないです。
水(みず)の力(ちから)で、マンホールのふたが外(はず)れていることもあります。
傘(かさ)などをつかって、足(あし)の下(した)をかくにんして、ほかの人(ひと)といっしょにあるきましょう。
- 車(くるま)は、水(みず)の深(ふか)さが50cmより大(おお)きい場所(ばしょ)では、水(みず)に浮(う)かんで、はしれなくなります。

雨(あめ)がたくさんふるときや、台風(たいふう)がくるときは、いつも新(あたら)しい天気(てんき)のことを、かくにんしておきましょう。

あぶなくなる前(まえ)に、安全(あんぜん)な場所(ばしょ)に、にげることが、大事(だいじ)です。